

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 しおかぜ	代表者	理事長 三宅 富之	法人・ 事業所 の特徴	社会福祉法人しおかぜは、特養・ショートステイ・デイサービス・訪問介護・小規模多機能や認定こども園と子供から高齢者まで、幅広く生活を支援することができます。小規模多機能では、認知症高齢者の支援に力を入れており、軽度から重度の方まで様々な状態の方に利用して頂いています
事業所名	小規模多機能ホーム やすらぎの家児島駅前	管理者	立石 裕子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	人	1人	1人	2人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・毎月の会議の項目にサービス評価全体の確認ができる項目を追加し、取り組みが確認できるようにしていく	毎月会議にて、全職員と話し合いが出来た。毎月確認する事で、より意識出来る様になり、更に改善点を見つける事も出来た。	職員の振り返りができる良い機会でもある	現在の形態を継続し、毎月のやすらぎ会議で取り組みについて確認を行い、改善計画を常に意識出来るようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	・玄関付近の花壇に多年草等の花を植えてみる ・ウェルカムボードを完成する	寄せ植えを置いたり、施設周りに種を蒔く等、玄関先が明るくなった。ボードは上手く設置できず、玄関内に飾っている。	関先にお花があるのは、明るくきちんとしていると印象を受ける。	年間を通し花を植えたり、水やりをご利用者様の役割として一緒にする。 ボードは玄関外に設置する。 アロマ等で五感を刺激してみる。
C. 事業所と地域のかかわり	・月1回のゴミ拾いを実施 ・小地域ケア会議で情報発信ができるか、検討する	ゴミ拾いはたまにで積極的に取り組めていない。 小地域ケア会議は参加しているが、発信はしていない。	秋祭りを実施していたが、あまり交流の場になっていない。 秋頃、介護予防教室を実施するのはどうでしょうか？	散歩を兼ね引き続きゴミ拾い実施。 目先を変え、近隣施設の子供達を招き交流する機会を作ってみる。 介護予防教室を実施する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・時候の良い時は、施設周辺の散歩をしたり、外出の機会を多く持てる様に意識して支援する	行事の外出は予定通り実施出来た。日常生活の中での施設周辺の散歩は、あまり出来ていない。時間等の工夫をしていく。	個人情報の事も有り、難しい面がある。	時間等の工夫をして、日常生活の中で公共施設に出向いたり、施設周辺の散歩の機会を多く持てる様に支援する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・現状の形式を維持し、地域と一緒に取りくんでいけないか、検討していく	資料を準備し状況を詳細にお伝えしている。	事業所の様子はよく伝わっている	引き続き現状の形式を維持し、情報交換しながら、地域と協働して実施できる事はないか、検討する。
F. 事業所の防災・災害対策	・現実的な避難訓練の検討と実施 ・緊急連絡網の確認と連絡の試験実施	緊急連絡網を試験実施する。漏れが確認出来たり、事前に伝えていたが想像以上に時間がかかる等、新たな改善点も見えた。	令和2年1月9日に地域の自主防災組織の立ち上げ	年に1回、緊急連絡網の連絡の試験実施。地域の避難訓練にも出来る範囲で参加させて頂く。(今年度声掛け頂いたが調整つかず)